

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン研修2											
対象	2年次	開講期	前・後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	2
担当教員	加賀武見			実務経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
担当教員は、商品開発の基本をミラノで習得し、商品の供給から販売までの業務に携わることで、デザインの役割を深く理解し、キャリアを積んだ後、企業と商品企画した経験を基に授業を展開している。											
授業概要											
デザイン研修は、デザイナーとしての視野を広げるため行う、短期研修プログラムである。訪問する地域・施設・文化の中で行われる見学や交流プログラム、制作体験などを通じて、言語や地域を越えてのデザインの役割やコミュニケーションの大切さを学ぶことを目的とする。											
到達目標											
期間中は、共に行動する引率教員に報告・連絡・相談ができ、仲間と協調して行動すること。また、期間中は指定された時間に遅れずに集合できるなど、必ず時間を守る。研修期間中は、現地で体験したことを、写真や動画で記録し、メモを取ること。また、体験を振り返り、スケッチにするなど、自身の表現に置き換えること。研修終了後は、期間中に体験したことを言語化し、今後の到達目標とすること。											
授業方法											
学校・カレッジ・学科が実施計画したデザイン研修内容が発表されたのち、オリエンテーションを実施、その後担任へ参加申込を行うというプロセスを経て、デザイン研修に参加する。研修を行う地域(国)および実施概要は、オリエンテーション時に詳細を伝える。											
成績評価方法											
レポート 平常点	60％ 10％	授業内容の理解度を確認するために実施する 出席・授業に取り組む態度によって評価する									
履修上の注意											
デザイン研修参加希望を保護者同意の上、決定したら申込締切日までに担任へ申し込むこと。また、終了後は、必ず担任へ報告し、速やかにレポートを提出すること。											
教科書教材											
必要資料は配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	【デザイン研修 事前説明会】 研修会の全体像を理解し、期間中にグループとして活動するための準備を整える										
第2回	【研修①】 研修初日。グループとして行動し、体験したことを議論・共有し、体験内容を深く理解できる										
第3回	【研修②】 研修2日目。グループとして行動し、体験したことを議論・共有し、体験内容を深く理解できる										
第4回	【研修③】 研修3日目。事前に計画したグループでの計画を、達成できる										
第5回	【研修④】 研修4日目。事前に計画したグループでの計画を、達成できる										